

高齢社会に向けた施策の充実について



質問者
南雲 まさ子 議員

松田町第6次総合計画の基本計画には、「元氣あふれ心かよう長寿を喜ぶ町を目指し要介護状態にならないように介護予防施策の充実と元氣に生き甲斐をもって生活できる地域を実現していきま

す」とあります。そこで次のことを伺います。

(1) 高齢者が地域で集まり運動や会食、趣味などを楽しむ「通いの場」を地域支援事業との連携を図りながら、地域包括ケアシステムの充実に向けての取り組みが必要と思いますが、お考えを伺います。

(2) 認知症の予防・重症化防止のため、認知症の



地域の茶の間

早期発見・早期対応の支援体制を包括的に行う「認知症初期集中支援チーム」に繋ぎ、適切な医療・介護サービスなどが速やかに行える取り組みの強化が必要だと思いますが、本町のお考えを伺います。

社会参加の拡充を

A



回答 (町長)

(1) 「通いの場」として、地域の茶の間が19ヶ所で開催されている。参加者

の固定化やマンネリ化の対応として、ふれあい相談員さんや、社協と相談しながら成功事例を推奨していく。社会から孤立した方の対応として、新たに傾聴ボランティア等も考え、地域福祉コーデ

イネーター等の方々と連携を密にし、早期にSOSを捉えられるようにしていきたい。さらに社会参加に繋げられるようにしていく。

(2) 認知症ケアパス作成や認知症サポーター養成講座を、小中学校等今まで86回1800人が受講し、「認知症初期集中支援チーム」に繋げられるようにしている。今後、リーフレットを商店等に置いて頂き「認知症初期集中支援チーム」の周知に努めていく。

松田町の将来財政推計について



質問者
井上 栄一 議員

来年度の町一般会計予算は松田小学校整備事業等により50億7千万円となる大型予算であります。

小学校建設に6億円、小学校整備や防災行政無線整備などの財源として町債7億2千万円を起債す

る予算であり、町の将来財政推計を踏まえた財政執行が町の要であります。そこで、令和2年度予算における起債借入額や今後の確定した小学校整備事業などの借入額を含めた現実的な町の将来財政推計についてお伺いたします。

町民要望からの6次総合計画に則る

A



回答 (町長)

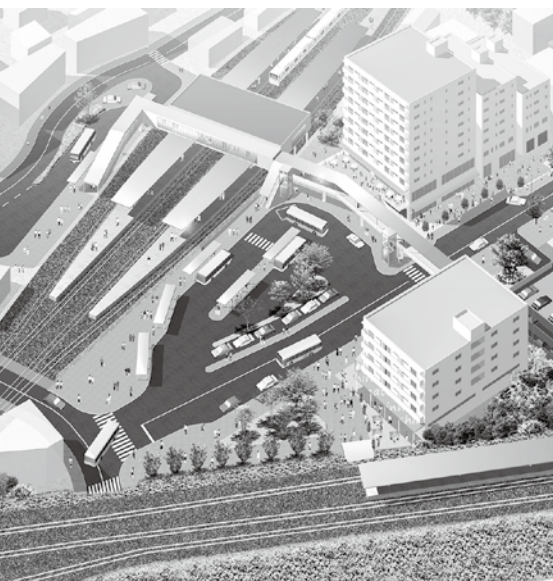
町民の要望で一番大きいのが、駅周辺の整備である。

そのためには財政的な面をしっかりとする。

町民に負担が無いように、順調な財政運営のためにも基金を積み立てる勇気をもって止めなければいけない事業も当然出てくる。

未来を担っていく子供たちがまた戻ってきてもらえるような街づくりを進める。

財政負担の先送りをするといいことも極力減らしていかないといけない引き続き、議会から様々な建設的なご意見を頂きながら進めていく。



新松田駅周辺整備のイメージ図